

令和3年度 兵庫県こうのとり賞被表彰者名簿

番号	氏名	年齢 (11月2日時点)	住所	表彰理由
1	いけうち ひろし 池内 弘	86	姫路市	住宅用火災警報器の普及並びに設置促進事業において率先かつ献身的に行動し、「地域から火災の発生や火災による負傷者を出さない」という強い決意を自主防災会員600世帯で共有し、条例適合設置率を2割増の約90%とした。また、住宅用火災警報器の設置状況や購入等に関するアンケートの回収においても平均回収率が24%に対し64%と非常に優れており、地域住民の防火防災意識の高揚と自主防災組織の育成に尽力している。
2	ほんしょう みつぐ 本勝 貢	73	姫路市	平成26年から下手野自主防災会に参加し、平成28年には副会長となり会長の補佐役として、自主防災会を支え、平成30年に会長に就任し、自主防災会の代表として、活動の活性化に取り組んでいる。また、定期的に下手野自治会住民を対象とした消火訓練・通報訓練等を企画及び開催するだけでなく、地域にある事業所の消防訓練にも参加指導するなど、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自主防災の理念の下、自主防災会の防災リーダーとして活躍している。
3	おおの みつお 大野 光生	72	姫路市	平成23年から自主防災会長として、平成30年から連合自主防災会長として、長期にわたり、地域の防災リーダーとして自主防災活動の推進に取り組んできた。その中で、あらゆる災害対応に備えるため、消火訓練、避難訓練並びにAED及び心肺蘇生法を取り入れた救命訓練等、多岐にわたる訓練を毎年継続的に実施し、地域住民の防火防災意識の高揚及び地域防災力の充実強化を図ることに貢献した。
4	こうだ りょういち 幸田 良一	66	姫路市	自主防災会の会長として、住民を対象とした自主防災訓練では、避難訓練に傷病者の搬送要領を取り入れたり、消火訓練では、消火器及び消火栓の取り扱いのみならず、消防団員の指導を受け、可搬式ポンプを実際に取り扱ったりするなど工夫を取り入れている。また、昨今のコロナ禍においてもマスク着用、ソーシャルディスタンス等の新型コロナウイルス感染防止を徹底した上で訓練を実施している。
5	かとう たかあき 加藤 貴章	28	姫路市	平成23年に小学1年生から2年生を対象とするビーバー隊補助者となり、ビーバースカウトの良き兄として活動し、平成26年からはビーバー隊副長となって、ビーバー隊長を補佐している。副長になってからはビーバー隊の活動を知らせる「ビーバー通信」を月1回のペースで作成し、保護者からも「ビーバー通信」を通して厚い信頼を得ている。
6	ゆだ ひでき 油田 英規	69	相生市	平成20年からボーイスカウト姫路12団育成会長として活動し、団の発展に寄与するとともに、継続してMOA美術館全国児童作品展姫路会場事務局長を務め、姫路市内の小中学生を対象に絵画、書道を奨励し児童の情操教育に尽力し、近年は日本ボーイスカウト日本連盟の理解のもと、ボーイスカウト姫路12団賞も新設し子供達を称えるなど、社会奉仕活動に繋がる教育活動に多大な貢献をした。
7	あずま かつゆき 東 嘉津之	52	姫路市	平成24年から子ども会指導者として、地域の子どもの会の発展・普及に尽力した。平成25年からは中部ブロック顧問として、平成26年からは姫路市子ども会連合会の会計として、組織の運営に尽力した。また、行事の際は準備まで積極的に行動し、特に子どもたちの見守りや安全対策には気を使い、周りからの信頼も厚く現在も地域の子どもの会のバレーボールの指導者として活躍している。
8	ひぐち あきこ 樋口 明子	55	姫路市	スポーツ少年団認定員登録してから、単位団で会計を務めるとともに、青少年の健全育成に努め、特にリーダー育成を目指し、スポーツ少年団県大会及び近畿大会に引率指導者として参加し、個人のスキルアップも図っている。このようにスポーツを通して市民や県民の健康・体力の増進を図り、円満な社会生活及び人間形成、健康で文化的な生活の実現に尽力されている。
9	すずき まさき 鈴木 正樹	71	姫路市	姫路市スポーツ少年団ソフトボールチームの指導者として、30数年にわたり小学生を指導し、地域の子どもの健康な身体と健全な精神の育成に貢献している。また、兵庫県スポーツ少年団ソフトボール専門部会委員として、兵庫県ソフトボール総合競技大会や交歓大会の開催に事務担当者として尽力し、兵庫県内のソフトボール競技の普及に寄与している。
10	おりた りょうぞう 織田 亮三	83	姫路市	平成15年度から、県立こどもの館の工作館において、来館する親子らに対し、木工作の作成の指導ボランティアとして、その才能を遺憾なく発揮した。常に来館者らに対して丁寧な対応と温かい指導を行うなど、職員からの信頼も厚く、多くの来館者で賑わう夏休みには、子どもたちの課題作品作りの指導に尽力した。また、県立ものづくり大学校でも、木工作の講師として活動するなど、地域の若者や子どもたちに、技能の伝承も積極的に行っている。
11	ふくだ ともゆき 福田 智之	81	加古川市	平成21年度から県立こどもの館の工作館において、木工作の指導ボランティアとして、多くの親子らに創作の楽しさを伝えている。竹工作に卓越した技能を発揮し、熱心に指導している。特に工作館で夏休みの工作として人気の高い作品の一つでもある「ゴムてっぽう」において、中心となって丁寧に指導を行い、工作館を利用する子どもたちの創作意欲の向上に大きく寄与している。また、「ひょうご環境体験館」で工作指導を行うなど子どもたちの体験学習機会の充実に貢献している。
12	なかむら こういち 中村 孝一	74	姫路市	平成11年より姫路防犯協会城陽支部委員に就任、現在副支部長として、支部活動の円滑な運営に尽力している。地区諸行事におけるパトロール活動、特殊詐欺等被害抑止等のキャンペーン活動、姫路連合防犯協会所有の青色防犯パトロール活動、ひめじゆかたまつりにおける合同パトロール等も積極的に行っている。

令和3年度 兵庫県こうのとり賞被表彰者名簿

番号	氏名	年齢 (11月2日時点)	住所	表彰理由
13	くしはし ゆきお 榊橋 行雄	80	姫路市	教員退職後、教員時代から抱いていた「不登校」や「引きこもり」の若者たちをなんとか救う方法はないかと考え、私財を投じて平成17年に「情報センターふきのとう」を開設。「不登校児童生徒」は18歳以下の者には救済制度があるが、18歳を過ぎると頼れるところがないことから、「情報センターふきのとう」ではこの制度から漏れた18歳以上の若者を救うため講演会や語りの会などの活動を続けている。
14	やまもと まさや 山本 雅也	67	姫路市	姫路美術協会の写真部会の審査員を歴任し、平成20年度から委員長を務めた。また、写真だけでなく、日本画、洋画、書道及び工芸品各部門を束ね、太子町が主催する太子町美術展の運営委員を担っている。平成29年度から全日本写真連盟の兵庫県本部副委員長、令和元年度から全日本写真連盟の関西本部委員として活躍している。また、ボランティアとして西播磨・中播磨地域のカメラ愛好家等を対象とした写真コンテストの開催に尽力し、写真の技量の向上や交流の輪の拡大など文化の活性化を推進している。
15	いたはら かねのり 板原 兼則	65	姫路市	平成20年5月に自らが中心となって姫路市カヌー協会を設立、平成25年から姫路アウトドアスクールの教員を務め、野外活動のノウハウを生かしてカヌーや沢登、雪山冒険法等、豊富な実践技能を提供している。また、ボーイスカウトの指導者として活躍するほか、中播磨青少年本部事業におけるカヌー体験を通して、親子の絆を深め、地域の子どもたちが自然を親しむことに尽力している。